

<来日しないアーティスト>

来日しないアーティスト名	4月29日(金・祝)公演	4月30日(土)公演
ヴェルテンベルク管弦楽団 ルーベン・ガザリアン (指揮)	1 1 1	2 1 1、2 1 3
アブデル・ラーマン・エル＝バシャ (ピアノ)	1 2 2	2 1 1
アダム・ラルーム (ピアノ)	—	2 3 1、2 3 2

<代わって出演するアーティスト>

代わって出演するアーティスト名	4月29日(金・祝)公演	4月30日(土)公演
シンフォニア・ヴァルソヴィア ゲオルグ・チチナゼ (指揮)	1 1 1	2 1 1、2 1 3
ミシェル・ダルベルト (ピアノ)	1 2 2	2 1 1
児玉 桃 (ピアノ)	—	2 3 1
アンヌ・ケフェレック (ピアノ)		2 3 2

※新たに LFJ びわ湖 2011 にアーティストのプロフィールは別紙をご覧ください。

◆◇◆ アーティストおよび公演の変更内容について ◇◇◆

<公演の変更内容> ※下線部分が変更箇所です。

■ 4月29日(金・祝)

公演番号 ホール名 開演時間	変更前	変更後
111 大ホール 14:00~	アンヌ・ケフェレック (ピアノ) ヴェルテンベルク管弦楽団 ルーベン・ガザリアン (指揮)	アンヌ・ケフェレック (ピアノ) <u>シンフォニア・ヴァルソヴィア</u> <u>ゲオルグ・チチナゼ (指揮)</u>
	曲目変更なし	曲目変更なし
122 中ホール 15:30~	アブデル・ラーマン・エル＝バシヤ (ピアノ)	<u>ミシェル・ダルベルト (ピアノ)</u>
	ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 op. 13「悲愴」 ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第15番 二長 調 op. 28「田園」	ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 op. 13「悲愴」(変更なし) <u>ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第32番 ハ短 調 op. 111</u>

■ 4月30日(土)

公演番号 ホール名 開演時間	変更前	変更後
211 大ホール 11:30~	アブデル・ラーマン・エル＝バシヤ (ピアノ) ヴェルテンベルク管弦楽団 ルーベン・ガザリアン (指揮)	<u>ミシェル・ダルベルト (ピアノ)</u> <u>シンフォニア・ヴァルソヴィア</u> <u>ゲオルグ・チチナゼ (指揮)</u>
	曲目変更なし	曲目変更なし
213 大ホール 17:00~	オリヴィエ・シャルリエ (ヴァイオリン) ヴェルテンベルク管弦楽団 ルーベン・ガザリアン (指揮)	オリヴィエ・シャルリエ (ヴァイオリン) <u>シンフォニア・ヴァルソヴィア</u> <u>ゲオルグ・チチナゼ (指揮)</u>
	曲目変更なし	曲目変更なし
231 小ホール 10:00~	アンリ・ドマルケット (チェロ) アダム・ラルーム (ピアノ)	アンリ・ドマルケット (チェロ) <u>児玉 桃 (ピアノ)</u>
	ベートーヴェン: チェロ・ソナタ第2番 ト短調 op. 5-2 ベートーヴェン: チェロ・ソナタ第4番 ハ長調 op. 102-1 ベートーヴェン: チェロ・ソナタ第5番 二長調 op. 102-2	ベートーヴェン: チェロ・ソナタ第2番 ト短調 op. 5-2 <u>シューベルト: アルペッジョーネ・ソナタ イ短 調 D821</u>
232 小ホール 13:00~	アダム・ラルーム (ピアノ)	<u>アンヌ・ケフェレック (ピアノ)</u>
	ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第21番 ハ長 調 op. 53「ワルトシュタイン」 ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第23番 ヘ短 調 op. 57「熱情」	<u>ヘンデル(ヴィルヘルム・ケンプ編曲): メヌエ ット ト短調 (クラヴィーア組曲第2巻第1番 HWV434より)</u> <u>ヘンデル: シャコンヌ ト長調 (クラヴィーア組 曲第2巻第2番 HWV435より)</u> <u>ベートーヴェン: エリーゼのために Wo0. 59</u> <u>ベートーヴェン: バガテル 変ホ長調 op. 33-1</u> <u>ベートーヴェン: バガテル ト短調 op. 119-1</u> <u>ベートーヴェン: バガテル 二長調 op. 119-3</u> <u>ベートーヴェン: バガテル ト長調 op. 126-5</u> <u>ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ 短調 op. 27-2「月光」</u>

<新たに LFJ びわ湖 2011 に出演するアーティストのプロフィール>

■ゲオルグ・チチナゼ（指揮）

グルジア出身。トビリシ州立音楽大学院にて学び、その後マリンスキー劇場にて V. ゲルギエフの元で研鑽を積む。

2012 年にはオランダ放送フィルとの共演が予定されるなど、世界に活躍の場を広げつつある新進気鋭の指揮者である。



■シンフォニア・ヴァルソヴィア（オーケストラ）

1984 年設立。初代音楽監督・メニューインのもと世界各国で成功を収める。芸術監督ペンデレツキの作品を多数演奏・録音。

2008 年よりミンコフスキが音楽監督を務める。昨年はショパン生誕 200 年を記念したワルシャワでの LFJ 開催にも尽力した。



■ミシェル・ダルベルト（ピアノ）

パリ出身。1975 年のクララ・ハスキル、1978 年のリーズ国際コンクール優勝者で、日本国内でアルバムをリリースしていたことからファンも多い。

2008 年には NHK「スーパーピアノレッスン」に出演し、その深い解釈が高い評価を得ている。

